



お知らせ

どなたでもご利用できます 在宅福祉サービス

山古志村では、地域ぐるみの福祉を支援するため、ホームヘルパーの派遣やショートステイ事業などの在宅福祉サービスを行っています。次のようなご家庭ではぜひご利用ください。

- ①介護を手伝ってほしい
一人暮らしや寝たきりなどのお年寄りがいる家庭に対し、介護や身のまわりのお世話をしたり、相談にのったりするホームヘルパー(家庭奉仕員)を派遣します。
- ・対象者
介護を必要とする、おおむね六五歳以上のお年寄りのいる家庭
- ・利用場所
村から家庭へ、ホームヘルパーが派遣されます。
- ・利用料
所得に応じて、一時間当たり二〇〇円から六五〇円。(低所得



の人は無料です)
②短期間老人ホームでお世話します
寝たきりや痴ほう性のお年寄りをお世話している家族の人が、病気、冠婚葬祭、出産、旅行などのために、一時的にお世話ができなくなった時、一定期間老人ホームが代わってお世話します。(ショートステイ事業)



種芋原まつりでパレードする、種小鼓笛隊のみなさん



秋期全国
火災予防運動
10月26日～11月1日
「おとなりにあげる安心
火の始末」
新潟県では「平成元年秋期全国
火災予防運動」を10月26日から
11月1日にかけて行います。

山古志村錦鯉品評会
・10月26日(木)
・会場 漁協
各地区錦鯉品評会
・種芋原、東竹沢、三ヶ
虫亀、いずれも10月22日

・対象者
家庭で寝たきりとなっているなど、おおむね六五歳以上のお年寄りで。
・利用場所
あらかじめ村が指定した、特別養護老人ホームなどです。
・利用料
一日一、八九〇円です。
※お問い合わせは、住民課へどうぞ。(☎五九一三三〇)

空気の乾燥する時期、くれぐれも火の用心を。
■火の用心七つのポイント
①寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
②子供は、マッチやライターを使わせない。
③風の強いときは、たき火をしない。
④天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
⑤家のまわりに燃えやすい物を置かない。
⑥ふろの空たきをしない。
⑦ストーブには、燃えやすい物を近づけない。

10月17日
行政合同相談
行政への苦情や
要望はお気軽に！
毎年一〇月に行っている行政相談を、今年も一〇月一七日(火)に行います。昨までは行政相談委員だけで相談をお受けしていましたが、今年には心配ごと相談委員二人と役場国民年金担当者も相談に加わり、「行政合同相談」を行います。行政・心配ごと・国民年金これらに関する相談ごとがありましたらお気軽においでください。

行政相談委員制度とは
たとえば、●医療保険、年金、老人保健、福祉●パートタイム労働、雇用保険、労災保険●公害●道路、住宅●郵便貯金、簡易保険●役所の窓口等の行政サービス●災害対策●交通安全●消費者保護●登記事務●環境衛生など、国・県・市町村を問わず、みなさまの身近な行政全般に関する苦情・要望等を受け付けて、その解決や実現の促進をはかるための制度です。
■説明に納得できない
■処理がまちがっている
■苦情を申し出たが、その措置に納得できない
■どこに苦情を申し出たらよいかわからない
■苦情を直接申し出にくい
これらの場合に、行政相談をご利用ください。ご相談は、口頭、電話、手紙、いずれの方法でも結構です。また、匿名扱いもでき、相談は無料です。役場での相談日以外でもお気軽にご相談ください。行政相談委員は、片桐勝四郎さん(橋本)です。
(電話 五九一三六六一)

・期日 一〇月一七日(火)
午前九時～十二時
・場所 役場村民相談室(二階)

今日の日本の繁栄を

築かれたのはみなさま

これからもお元気で

9月15日に敬老会

村主催の敬老会が、九月十五日(敬老の日)に山古志中学校体育館で開かれました。午前10時30分開会。参加者は村内各地区から、村のマイクロバスや越後交通の貸切バスで会場に集まって来られました。今回の敬老会の対象となる70歳以上の人は、四四四人。このうち敬老会に参加された人は、



二六九人でした。

開会後、主催者村長の「日本はみなさまのご努力により、世界一の経済大国・長寿国になりました。これからも、健康で明かるく楽しく長生きしてください」との感謝の言葉があり、県知事代理の三古社会福祉事務所からは、「戦前、戦中、戦後の激動期を生きてこられ、今日の日本の繁栄を築かれたみなさまに敬意を表します。新潟県は、高齢化社会を迎え、いつその福祉県をめざします」との祝辞がありました。

記念品贈呈は、喜寿該当者三三人(代表受領星野ヨセさん)、米寿該当者五人(代表受領長島金治さん)、金婚該当夫婦四組(代表受領小川太・マキさん)にそれぞれ村や県から、座ぶとんなどが贈られました。式の最後に老人クラブ連合会長の斉藤松治さんが謝辞を述べられ式が終了しました。その後、引き続き祝宴が開かれ、ステージでは山古志中学校吹奏楽部(七人)のみなさんが、一人づつ「みなさん長生きしてください」とあいさつしたあと、人生いろいろ



米寿代表 長島金治さん
ろなどを演奏し、さらに折鶴を一つづつ配り、参加した人たちは感激していました。ステージではその後芸能協会のみなさんも出演し、祝宴を盛り上げました。

総務庁の発表した、九月十五日現在の高齢者(六五歳以上)人口割合(推計)は、総人口の一一・六%となっている。この一年間の動きを見ると驚くべきことに、日本の総人口の増加数が五十一万人に對し、高齢者人口はそれ以上の五十三万人が増えていることがわかる。新潟県の高齢者人口は、全国一六位の一四・一%。山古志村は、今年三月三二日現在で二二・六%。高齢者人口割合が、国平均より一〇%も高い山古志村。これがさらに高まりつつあるという現実、現在日本中の山村が同様な傾向に

ありいかに山村の宿命とはいえず、直視を避けたい気持ちになります。国を筆頭に地方公共団体も、高齢化対策に真剣に取り組みつづけていますが、今後の行政は、特に当村のような現状の村は、高齢化対策を抜きに行政が進めなくなる、と言わざるをえません。

しかし、悲観しても事態が好転するわけではありません。みんなが現実を直視する勇気を持ち、村をあげてこの対策に真摯に取り組む、いかにこの高齢化社会に対応するかを考えなくてはならない時です。

高齢者といっても、ただ画一的に一定年齢の人を区分しただけのこと。年齢が多岐でも、体力、気力、知識とも若い人に負けない人は多く見られます。これらの能力を、「ただ、年齢が多くなったから」というだけで、自分自身の中



山古志中吹奏楽部のみなさん
にしまい込むのは悲常にもつたないことです。山古志村では前述のように、高齢化対策を抜きには村が進まないのです。高齢者のみなさまには、今一度、その持てる能力を十分に発揮していただき、高齢者として一歩下がるのではなく一村民として一歩進んで村づくりにご協力いただきたいと思



体力つくり強調月間

私のふるさと創生論(二)

一億円の夢

今月号で三回目となる「私のふるさと創生論」。今回は、中学生のみなさんご意見を紹介します。この山古志村のどこか広い所にアスレチックなどを作り、宿泊所も備え、日本中や外国からも遊びに来れるようにしたいと思

大きな五・六階位のビルを建て、その中にいろいろな施設を作る。一階はバレーボールコートが四面位とれる大きな体育館。二階はゲートボール場や老人たちの集まる憩いの場にする。三階は宴会やいろいろなパーティなどが開ける会場。四階には地域の人が集まって会議を開いたりするところなどにし、一つの大きな建物の中で村の人すべてが楽しめ、くつろげる場を作ったらいと思

私はこのふるさと創生については、村づくりのために何日も何日も考え、そして、この提案を思い、まず、山古志村には緑が少ないので、木や花を植えて行きたいと思

私は一億円を使って、ハイキングコースとキャンプ場を作ればいいと思

えるようにするのがいいです。牧場には、もつと多くの牛を放しておけばいいんじゃないかと思

種芋原 小川麻美 中学生
私はこれを提案します。「イベントの開催」です。なぜこれかという、昨年

種芋原 小川明美 中学生
祭りをしたいな感じはどうでしょう。秋は「村レク」があるから

種芋原 坂牧利江 中学生
二一世紀になれば、山古志村の人口もますます減少し、その存在

種芋原 坂牧麻利江 中学生
大遊園地を作ったらいと思

種芋原 坂牧由美 中学生
判焼など、山古志村の名物を売る

まつりをやっていますが、このよ

種芋原 小川明美 中学生
暖冬だとかまっています。村レクのように各地区で対抗して

種芋原 坂牧利江 中学生
その具体的な内容は、「ふるさと宅配便」なのだから山古志村の特

種芋原 坂牧麻利江 中学生
鏡を備え周囲の景色などが良く見

種芋原 坂牧由美 中学生
めつたにないと思

(4)
トピック
種芋原まつり



震災以降今の九月四・五日となったことです。種芋原地区には「十二山神社」、「熊野神社」と二つの神社があり、当時のまつりはこの両神社の祭礼、奉納相撲、盆踊りの三つを柱としていました。これが戦後の安定期から「花火大会」が行われるようになり、さらに最近では、年一度の「関牛種芋原場所」も開かれるようになって、現在の「種芋原まつり」の形が定着しました。現在の「種芋原まつり」の主な内容は、次のようになっています。

▲九月四日、午前

・小学校鼓笛隊が村内をパレード、熊野・十二山両神社に手作り灯笼を献灯。

▲九月四日、午後

・関牛
・夜、花火大会・盆踊り(熊野神社)

▲九月五日、午後

・奉納相撲(熊野神社) 昨年から子供相撲も加わった。
・夜、盆踊り(十二山神社)

種芋原まつりは、四日朝八時三〇分に地区内に響きわたる祝砲がまつり開始の合図です。そして、

まず、九時から種芋原小学校の鼓笛隊が村内を演奏しながらパレードします。これを聞いた地区民は、だんだん祭りの気分になっていき



賑った関牛種芋原場所

ます。鼓笛隊は出発前に「まつりは、今年も米や野菜がたくさん」と

れるように、と神に祈り感謝するものです」と校長先生から教えられ、元気に出発します。楽器を持たない低学年は、それぞれ手に自作の灯笼を持って続きます。これは、熊野・十二山の両神社に献灯するものです。まず、十二山神社まで行き、神社境内で献灯・演奏をし、続いて熊野神社に行き同じことをします。両神社の境内には

たくさんの人たちが集まり子供たちを迎えます。小幡中野区長さんの「みなさん鼓笛隊の音楽が聞こえないと、まつりが来た感じがしません」とのあいさつが地区民の

気持ちをよく代弁しています。両神社ではその後、祭礼が行われます。

四日午後一時からは、種芋原



盆踊り(熊野神社)

牛場で年一回の関牛が開かれます。だれでも歩いて行け、入場無料ということで、地区民はほとんど見物に行きます。種芋原では、この関牛があるおかげで年一度は関牛が見れる、と楽しみに待っている人もいます。地区民以外にも、帰省客はもちろん、地区外からも縁者や友達等がたくさん訪れ、牛と勢子に声援を送ります。観客席は毎年満員御礼です。今年は一六番の取り組みが、一時から約三時間かけて行われました。

夜八時からは、花火大会です。

打ち上げ場所は、四方山頂。花火から遠い家は、よく見える

親戚や友達の家は、花火見物に行きます。打ち上げ数は約六〇発。



子供相撲

これが約一時間かけて打ち上げられます。スポンサーは、業者・商店が主体です。種芋原出身の関東在住者のスポンサーもいます。花火にはそれぞれ、スポンサーにちなんだ名前がつけられています。

例えば「恋の妙薬」「三光丸」、「教養の源」「馬場書店」、「味の大菊花」「ラーメンおき屋」、「男の花道」「角道会」等、花火の番組表を見るだけで楽しくなります。

そして花火が終わると、熊野神社から太鼓の音が聞こえてきます。

これを聞いて、若い人は仲間たちと、子供たちは子供同志で、小さい子供は親といっしょに、それぞれ三々五々神社に集まっています。そして一〇時ころには、踊る人と見物客で神社境内はいっぱいになり、盆踊りは最高潮に達します。終了は、一一時丁度。

翌五日は、午後二時から角道会主催の奉納相撲が行われます。昨

次ページへ続く



奉納相撲

年からは小学校の男の子たちの前相撲も行われるようになりました。奉納相撲のやり方は、同じ相手と続けて二番対戦します。このうち、最初の一番は真剣勝負、次の一番は勝った方が少し加減し、相手にも花を持たせるといふやり方です。しかし子供たちは、「最初勝ったから次は負けてやるんだよ」と先生から教えられているようですが、大人のように手抜きはできません。土俵に上った力士はそんな事は忘れ、二番続けて勝った子供もたくさんいたようです。二時からはいよいよ大人の相撲。力自慢、技自慢が次々と入場します。東西に分かれ、それぞれ対戦が行われます。最近はお・中・高校の若い先



子供たちは一目散に露店へ

生も多く参加されています。ひととおりの対戦が終わると、三人抜き、五人抜きが行われます。横綱相撲あり、寄襲攻撃ありで、観客の一番

楽しめるのがこれです。みこ勝ち抜いた力士には、抱えきれないほどの賞品が与えられます。角道

会の人たちは、青いハッピー姿で一升びんを持ち、観客に酒を振舞い

ます。大きな杯で二・三杯飲むのもうホンワカ。声援にいつそう熱

が入ります。こうして名力士と観客が一体となって楽しむのが、奉

納相撲です。

五日夜には、今度は十二山神社で盆踊りが行われます。しかし残念ながら今年は雨で中止となりました。こうして、九月四日五とまつ

大賑い！ 橋本秀泉民謡ショー

広報八月号でご案内した、山古志村木籠出身の橋本秀泉(ヤス子)さんの民謡ショーが、九月一〇日に村民会館ホールで開かれました。開演は午前一時、ショーが終ったのは午後二時過ぎ。この間四時間余、会場入口の扉を開け放つて扉の外から見入る人もいたほどの超満員の観客は、本格的な民謡と踊りを、充分満喫されたようでした。

熱唱する橋本さん(中央)



この間には昼食のお弁当のサービ

スも行われ、観客には至れり尽くせりのショーでした。橋本さんの「故郷の皆様に民謡を披露し、楽しい一時を過ごしていただきたい」とのお気持は、観客のみならず、十二分に伝わったことでしょう。

晴れたぞ ソレ稲刈りだ

晴れた日が数えるほどしかなかった九月。農家のみなさんは、晴れ間を待ちつけて(待ちきれず)稲刈りにいっしょうけんめいです。今年の九月は記録的な雨続きで、農家泣かせの月でした。

高野国衛さん



松崎一司さん



小川伝二さん



星野秀雄さん

星野武正さん



献血にご協力 ありがとうございました



8月30日に山古志通信と村民会館前で行われた献血で、次の71人の人たちからご協力いただきました。(敬称略)

○印は400cc採血者

- 虫 亀**
 - 田中アヤコ 長島美代子 石原明子
 - 五十嵐キク 酒井一郎 長島世津子
- 佐藤丈平**
 - 高野智恵子
- 竹 沢**
 - 星野千夜子
 - 星野テルエ
 - 高野勝治
 - 星野秀雄
 - 星野サツ子
 - 川上春雄
 - 星野京子
 - 高野徳義
 - 高橋純治
 - 小池一雄
 - 小池順子
 - 青木正子
- 東竹沢**
 - 上田清作
- 種芋原**
 - 坂牧イミ
 - 坂牧広志
 - 川上靖吉
 - 草間頼雄
- 南 平**
 - 畔上多作
 - 畔上伸治
- 村 外**
 - 田尻正敏
 - 星野武男
 - 石沢雅弘
 - 五十嵐博
 - 小川美佐子
 - 菊入 淳
 - 今井 淳
 - 古原正之
 - 星野美佐枝
 - 細川恭一
 - 佐藤 敦
 - 堀井辰雄
 - 星野君江
 - 影山勝弘
 - 古沢賢治
 - 渡辺 正
 - 反野京子
 - 五十嵐誠
 - 小川裕二
 - 渡辺広明
 - 小林敏野
 - 関場清隆

錦鯉・早くも前哨戦

9月20日・漁協青年部が 優勝当歳品評競売会

本格的な錦鯉のシーズンは、やはり一〇月上旬から。しかし、今後山古志村の錦鯉は我々が、と意気上がる漁協青年部では、九月二〇日に早くも「優秀当歳品評競売会」を開きました。

会場は役場前。午前中品評会、午後から競売会が行われました。当日は、前夜からの台風の影響で午前中はまだ雨の残る天候でしたが、次第に雨は上りまします。品評会日和となりました。出品は、青年部を中心に四〇人が二〇〇点を出品しました。

品評会では、総合優勝に坂牧雅良さん(種芋原)の三色、総合次席には長島博さん(虫亀)の紅白が選ばれました。競売会は午後一時から、青年部会長の星野由太郎さんの「出品鯉はすべて薬浴済みの丈夫な鯉です。安心して買い上げてください」とのあいさつで始まり、威勢のいい番台さんの声が二時間位続き、競売が終了しました。総合優勝と次席の鯉を購入したお客さんには、青年部からコシヒカリ一〇kgが贈呈されました。品評会の入賞者は、次のとおりです。(敬称略)

坂牧雅良(種芋原) 三色

総合次席 長島 博さん

総合優勝 坂牧 雅良さん

一席 佐藤幸男 二席 石原富栄 三席 佐藤浩明・石原富栄 三色の部

一席 小川庫二 二席 星野重行 三席 星野健太郎・高野信夫 昭和・写り物の部

一席 五十嵐敏勝 二席 坂牧雅良 三席 齊藤広栄 変り物の部

一席 星野重行 二席 平沢弘志 三席 星野源一 光り物の部

一席 齊藤 斉 二席 渡辺一治 金銀鱗の部

一席 五十嵐松男 二席 星野要一

一席 佐藤 幸男さん

紅白一席 佐藤 幸男さん

三色一席 小川 庫二さん

昭和写り物一席 五十嵐敏勝さん

変り物一席 星野 重行さん

米は全量 指定集荷業者に

県と食糧事務所では、集荷団体とともに米の不正流通防止運動を展開しています。米は全量指定集荷業者に売り渡しましょう。

一席 齊藤 斉 二席 渡辺一治 金銀鱗の部

一席 五十嵐松男 二席 星野要一

一席 佐藤 幸男さん

紅白一席 佐藤 幸男さん

三色一席 小川 庫二さん

昭和写り物一席 五十嵐敏勝さん

変り物一席 星野 重行さん

ゲートボール大会 竹沢Aチームが優勝

九月二日に山古志中学校グラウンドで、第八回山古志村ゲートボール大会が開かれました。参加チームは二チーム。優勝は竹沢Aチーム、準優勝は竹沢Bチーム、三位は虫亀Aチームでした。

収穫する米は、全量を指定集荷業者に出荷してください。資格のない者に米を売り渡すことは、食糧管理法で禁じられています。指定を受けないで米を集荷したり米を販売することは、食糧管理法で禁じられています。消費者の信頼を損わないためにも、米は決められたルートで流通させましょう。

標準小作料 改定

九月に標準小作料が改定されました。しかし、農地区分・小作料とも以前と変わっていません。この標準小作料は、九月以降の契約に適用してください。農地区分金額は、次表のとおりです。

農地区分	標準小作料 (10アール当り)
一級地	21,000円
二級地	14,000円
三級地	9,000円

※ 畑については、標準小作料を決めてありませんので、当事者間で決めてください。

■赤い羽根共同募金

この目標が達成された場合の主な用途は、次のようになります。

■赤い羽根共同募金

・社会福祉施設の整備に 一五万円(二〇・五%)

・ねたきり老人慰問、除雪費援助、母子福祉活動援助等地域の福祉活動推進のために 五八万円(七九・五%)

・歳末たすけあい募金 募金達成額が全額(四八万円一〇〇%) 村社会福祉協議会に配分され、ねたきり老人、在宅の重度心身障害者、長期療養入院・入所者等の歳末援護に使われます。

日本赤十字社より 救急車寄贈

日本赤十字社から小千谷地域消防本部に救急車が寄贈され、九月六日関係者参列のもと入魂式が行われました。価格は二五〇万円相

甲種防火管理者 資格付与講習会

甲種防火管理者の資格付与講習会が開かれます。定員がありますから、お早目にお申し込みください。

・期日 一〇月二六日、二七日

・会場 小千谷地域消防本部

・受講料 一般 三、〇〇〇円

・受付 一〇月一日〜二〇日

がんはまず 健診で早期発見を

動き盛りに多いがん。年に一度は必ず定期健診を受けましょう。胃カメラ健診の追加申し込みを受け付けます。健診を希望される人は、住民課・保健衛生係にご連絡ください。

・健診日 一〇月一四日(土)、一〇月二二日(土)、十一月一日(土)、十一月六日(土)

救急車のご利用については、面倒な手続きやお金等は、いっさい必要ありません。局番なしの二一九番をまわし、地区名・氏名・屋号などを正確に伝えればそれでご利用できます。適切にご利用ください。

火事と救急は二一九番です。

消防本部へ直接お申し込みください。

・定員 七〇人(定員になり次第締め切ります)

※不明の点は、消防本部にお問い合わせください。(電話 八三二一三二一)

